

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

| | |
|------|---|
| 対象部局 | 社会学研究科 |
| 大項目 | 6 教育内容・方法・成果 |
| 中項目 | 6.4 成果 |
| 小項目 | 6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。 |
| 要素 | 学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） |
| 小項目 | 6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。 |
| 要素 | 学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価） 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門） |

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

| 2009年度に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|--------------------------|-----------------------------------|------|
| 1. 学生による授業評価指標の試行 | →学生による授業評価項目の適切性に関する院生会との懇談会実施の有無 | A |
| 2. 外部審査委員への委嘱件数を過半数以上とする | →外部審査委員への委嘱件数 | A |

| 2010年度以降に設定した「目標」 | 左記目標の「指標」 | 進捗評価 |
|-------------------|-----------|------|
| | → | ☆ |
| | → | ☆ |

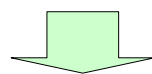
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

| | |
|------------|---|
| ☆ 小項目6.4.1 | (方針) 院生会を窓口として教育を受けている院生側から評価や意見をヒアリングし、教育内容の改善に反映する。 (現状説明) 定期的開催される院生会との面談の場においてカリキュラム全般に対して意見や要望を聴取し、改善・改革に繋げている。 |
| ☆ 小項目6.4.2 | (現状説明) 大学院研究科委員会において主査および2名の副査を審議・承認し、掲示にて公開している。また、口頭試問については公開とし、透明性を確保している。特に後期課程については積極的に外部審査委員に委嘱している。 |
| ☆ その他 | |

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

| | |
|------------|--|
| 小項目6.4.1 | |
| ☆ 小項目6.4.2 | |
| その他 | |



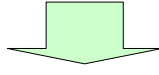
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

| | |
|------------|--|
| 小項目6.4.1 | |
| ☆ 小項目6.4.2 | |
| その他 | |

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

| | |
|------------|--|
| 小項目6.4.1 | |
| ☆ 小項目6.4.2 | |
| その他 | |



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

| | |
|------------|--|
| 小項目6.4.1 | |
| ☆ 小項目6.4.2 | |
| その他 | |

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

| | |
|-----------------|--|
| ☆ その他 (自由記述) | |
|-----------------|--|

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○「目標・指標」1、2ともに進捗状況は評価できますが、記述内容は6.2(教育課程) および6.3(教育方法)の改善にかかわるものです。「教育成果」測定のために、目標・指標の再検討が望まれます。

【学内委員】

○現状説明の記述はおおむね明確です。

○学生による授業評価は定期的に行われており、その結果が改善・改革につながっている点は評価できます。また、学位審査における外部審査委員への委託に関していえば、後期課程において積極的に行われている点は評価できます。口頭試問も原則公開とされている点は高評価に値します。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ 教育成果測定のために、研究成果発表会と院生の自己評価における評価シートの導入などを通じて、目標・指標の再検討を進める。

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

| | |
|-----------|---|
| 6.4.0.S1 | 学生の授業評価におけるシラバスの有効性に関する質問への肯定的な回答の比率 |
| 6.4.0.S2 | 定期試験の問題の適切性を検討する会議・委員会の有無と開催頻度 |
| 6.4.0.S3 | 各学部における学生の進路状況 |
| 6.4.0.S4 | 一括申請による教職免許状取得件数および取得者実数 |
| 6.4.0.S5 | 日本学術振興会特別研究員応募者の有資格者に占める割合 |
| 6.4.0.S6 | 各年次セメスターごとの履修単位数制限の状況 |
| 6.4.0.S7 | 成績評価の分布が適正な科目(平均点が70-75点)の比率 |
| 6.4.0.S8 | GPA値(全学、学部別、男女別など) |
| 6.4.0.S9 | 修士学位・博士学位・専門職学位の授与数 |
| 6.4.0.S10 | KGPSの修士学位・専門職学位の授与数 |
| 6.4.0.S11 | 3年卒業の適用者数 |
| 6.4.0.S12 | ジョイント・ディグリーの授与者数 |
| 6.4.0.S13 | 標準修業年限未満の修了者の数 |
| 6.4.0.S14 | 在学生のうち「この大学で人生の一時期を過ごすことが、将来にとって役立つと思う」人の比率 |

<個別的な指標>

| | |
|--|--|
| | |
| | |